

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 令和2年7月22日 午後 2時00分
- 2 閉 会 令和2年7月22日 午後 3時40分
- 3 場 所 総社市総合福祉センター2階 教養研修室
- 4 出席又は欠席した委員
出席委員
教育長 久 山 延 司
教育長職務代理者 上 岡 仁
委 員 三 宅 眞砂子
委 員 児 島 塊太郎
委 員 大 山 敬 子
欠席委員
委 員 剣 持 江利奈
- 5 会議に出席した者
教育部長 服 部 浩 二
教育総務課課長 浅 野 竜 治
学校教育課長 井 上 徹
こども夢づくり課長 小 野 玲 子
学校教育課指導主幹 村 山 俊
教育総務課主幹 前 田 英 子
- 6 会議録署名委員
久 山 延 司 児 島 塊太郎
- 7 付議事件
議案第19号 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について 原案可決
議案第20号 令和3年度使用特別支援学級教科用図書の採択について 原案可決
- 8 議事の概要 別紙のとおり

【開会 午後2時】

久山教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。この教育委員会には、議案2件が付議されております。既に通知をしております1件に加え、1件が追加上程されておりますが、議案第19号及び議案第20号については、議事の都合により、本日の日程の最後に審議したいと思いますので、ご了承願います。

それでは、会議録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私のほか、出席委員中、児島委員にお願いします。

久山教育長 それでは、私の方から一つ報告をさせていただきます。報告と言いましても何かあったということではなくて、今、丁度、学校訪問を私の方でしております。6月に学校が再開しまして、その後から小中学校を訪問しております。私と服部部長、それから学校教育課の課長以下担当者ということで大体3人で訪問しております。どこの学校も現在コロナ対策と暑くなりましたので熱中症対策ということで両方をどうやって両立させるかということ色々苦慮しながら、また工夫しながら毎日児童生徒の指導に当たってくださっています。子どもたちは大変よく頑張っています。今日は総社中学校へ行って来ました。昨日は中央小学校へ行って来ました。本来なら夏休みのなにといい感じで見ているのですが、子どもたちは全く違和感なく通常どおりしっかり頑張っております。特に中学校は4中とも落ち着いております。非常に落ち着いて集中しております。小学校ですが、小学校は低学年ではマスクが非常にきついんですね。特に暑くなると。持っていても着けたがらないという状況もあって、それを着けさせるのに先生も苦労されている学校もありますが、それでも何とかマスクを着けさせ、手洗いの徹底とかもきめ細かく指導しております。低学年では暑さから落ち着かない学級・学年もありますが、小学校も全体としては非常によく落ち着いて学校生活を送れていると思います。ただ、少し気になっておりますのは、教員の中に再開後1～2週間辺りから教員の精神疾患、メンタルとフィジカルというか体の調子が悪いような状況が出てきております。そういうことで休みがちな教員は、過去にもそういうことがあった方が繰り返してそういう状況で、これは、かなり心配です。そういう状況でございます。

私の方からの報告は以上でございます。学校の様子等で何かご質問等ありますか。すべてを把握しているわけではないのですが、見させていただいたり校長先生や教頭先生の話聞かせていただいたことではお答えできると思います。よろしいですか。

(質疑なし)

久山教育長 それでは次に各課からの報告事項等に移ります。報告事項等はありませんか。

浅野教育総務課長 本日お手元に配布させていただきました「総社市学校施設長寿命化計画の概要版」をご覧いただきたいと思います。先般、議会の委員会でも説明させていただいたのですが、この内容につきまして簡単に説明させていただきたいと思います。長寿命化計画と申しますのは大まかに言いますと、学校施設を今までの考えでは古くなればすぐ改築、建て直しと旧校舎を取り壊して新しく建てるという考え方が主流でしたが、今後は既存の施

設をできるだけ長く有効利用していこうという考え方へとシフトすることです。これにつきましては国のインフラ整備計画というものが平成25年に策定された中で、文科省についても各教育委員会に対しまして長寿命化計画を平成32年度中までに、つまり令和2年度中には策定しなさいという指針がございましたので、昨年度末にでき上がったものです。これにつきましてご報告させていただきたいと思います。

目的としましては、今までのように壊れたら直すというようなスタンスではなくて、予防保全的な、経過年数が経ったものについては事前に修理とか補修といったメンテナンスを早めにしていって施設の機能を維持しつつ長期間使い続けるということで、最終的にはコストの縮減と財政負担の軽減を図るために作っているものです。総社市の学校施設につきましても、全国的に類似するのですが昭和50年から昭和55年頃、いわゆる第二次ベビーブームの頃の方が丁度入って来る頃に建てられた施設が多くございまして、築50年近くになっているというような状況でございます。これから一斉に今後10年程度先に建て直すとなりますと多大な財政負担を強いられることとなりますので、今から維持補修、メンテナンスをしっかりとしていきながら長期間使うようにしていきましょうという計画になっております。基本的に学校の建物は鉄筋コンクリートまた鉄骨造りというのが主なものでございまして、大体耐用年数が60年と言われておりますが、それを80年に延ばして活用していこうという計画になっておるものでございます。計画期間については40年間ということですが総社市の公共施設等総合管理計画という上位の計画がございまして、図書館や公民館ですとかそういった全体の上位計画の中での計画と合わせて令和38年度(2056年度)までの計画としております。対象施設については小学校14校、中学校4校、幼稚園16園、認定こども園1園の35施設でございます。総社小学校は新築されたため、現計画の中には反映されておられません。また、いじりの認定こども園についても同様に新築されたものですので、この計画には入っておりません。

お聞きいただきまして、基本的に施設点検を建築基準法の12条の規定に基づいて現場で確認したものと経過年数を加味しております。概要の7ページを見ていただきますと長寿命化の判定フローで建築基準法の新耐震基準ですとか旧耐震基準があり、それから、傷み具合でコンクリートの圧縮強度ですとか中性化深さ、かなりひびが入って深いものについては30mmを超えているかどうかということで判断をしまして、長寿命化できるものと改築した方がよいのではないかとこのものを大まかに分けております。丁度真ん中あたりになります。耐用年数により改築が5棟上がっています。西小学校・神在小学校・山手小学校・東中学校です。施設全体ではなくて棟、1棟・2棟での判断です。施設全体ということではございません。こういうフロー図になっております。これで長寿命化と改築を考えたかどうかということでございます。次に10ページを見ていただきますと、改築中心から長寿命化への転換イメージということで、上の方を見ていただきますと改築中心のケースですと40～50年ごとに改築となってきますと費用的にかなり大きなものが継続してやってくるということですが、長寿命化のケースにしますと40年で改修しますと改築する場合

の5～6割程度で長寿命化できると言われておりました、6割で抑えれば4割相当縮減されるということです。例えばもう40年延ばせれば、それから改築ということでトータルのには財政負担が小さくなるということでございます。

次に13・14ページを見ていただきますと長寿命化の実施計画となっております。施設全体で見た場合、下の図に小学校の施設評価点があり、右側に施設偏差値というのがございます。この施設偏差値については、偏差値が高いほど劣化が著しいということでございます。全体で見た場合ですと、例えば北小学校の劣化度が進んでいるということでございます。同様に14ページに中学校、幼稚園、認定こども園という構成になっております。長寿命化にした場合にどういったことになるのかということが15～17ページにあります。15ページは従来型で改築中心にやった場合です。グラフの左に過去の施設関連費ということで11.8億円/年という数字がありますが、これが最終的には平準化してならしていくことになれば良いという計画になっております。この図を見ますと2028年から2030年に掛けて改築時期が集中しますということでございます。今までの考え方をずっとやりますと40年間の総額が528億円という試算となっております。年平均しますと、13.2億円ということで過去5年間の施設関連経費と比べて約1.1倍必要になるだろうというものでございます。お聞きいただきまして16ページを見ていただきますと、これが長寿命化した場合かどうかということでございます。長寿命化した場合はグラフの右側の方を見ていただきますと40年間の総額が454億円ということで、1年平均にしますと11.3億円で年の平均11.8億円に比べると0.95倍くらいに落ちますよという計画になっております。17ページを見ていただきますと、長寿命化した場合、改築が2038～2040年に集中し、平準化するためにこれを前後に振って、年単位で集中しないようにすれば良いのではないかと見通しになっております。この計画につきましては先程申しましたけれども総社市の公共施設等総合管理計画の中での個別計画として、学校施設の長寿命化計画でございますので、実際に実施・運用していくとなりますと全体の中で検討していかないといけないということになろうかと思っております。今後は壊れたら直すというスタンスではなく、なるべく早めに手を打って保全していく方向で進めていかないといけないと考えております。また、この計画につきましては10年を目途に見直していくこととなります。その時には総社小学校ですとかいじりの認定こども園についても計画に反映していく必要がございます。以上でございます。

久山教育長 長寿命化計画について、何かご質問の方はありますか。

上岡委員 13・14ページに小学校と幼稚園の施設偏差値が60以上の学校がありますが、これは優先的に長寿命化計画を適用するということですか。それともこれは別問題だという話ですか。どういうふうにごこへ挙げられているのですか。

浅野教育総務課長 これにつきましては、先程申し上げましたように施設全体での偏差値になっておりますので、例えば、西小学校で言えば偏差値が47.3になっております。改築しないといけないものは先程のフローの中で別仕立てになっているのですが、その他につい

ては劣化具合があまり進んでいないということで偏差値的には低くなっているということです。基本的にはこれはあくまで施設全体で見えていますので、実際の運用にあたっては棟ごとに考えていくようになりますので、こちらの表は、どちらかと言えば、今、総社市では考えていないですけれども統廃合するような場合に施設全体がどうなのかというときに見ていただくものになります。施設全体で言えばこの小学校とこの小学校のどちらを残すかというような場合に施設全体の偏差値ではこうだという指標になるものでございます。

上岡委員 基本は7ページにある5棟を改築。

浅野教育総務課長 そうです。7ページにあるこのフローで区分したものについて見ていくようになります。細かい棟ごとの資料がまた別にございまして、これはあくまで概要でお示しさせていただいております。

久山教育長 よろしいですか。他にはございませんか。

(質疑なし)

久山教育長 それでは、その他の報告事項はありますか。

井上学校教育課長 カラー刷りA3で折ったもの「新型コロナウイルス感染症対策に係る小中学校の臨時休校に関する調査 結果概要 暫定版」というものでございます。これは保護者アンケートの集計の結果のみをお示ししています。対象といたしましては、市内の小中学校に通う保護者で安全安心メール登録者5,191名の内、オンライン調査によって2,544件の回答を得ました。回答率は49.0%です。まず、問1としては臨時休校期間中、お子さんのことで不安に感じたことは何ですかということで、それに複数回答をいただきました。上から率の高かったものでございます。家での勉強の進め方、授業の遅れや受験のこと、運動不足、ゲームやスマホの時間が増えること等々学習習慣のこと生活習慣のことについて不安に思ったという回答でありました。家にいることが多く体重が増えたというお話も三宅委員さんからいただいておりますが、正に運動不足が保護者にとっても心配の一つだったのかなということがデータからも分かりました。一方で下から4番目、登校日に学校へ行くこと、このことに心配だった保護者が8.9%ということで、実際に登校日の欠席率が低かったことなどとも関係がありますが、登校日に学校へ行くことへの不安というのはあまり高くなかったという結果が見受けられました。ページをお開きいただきまして、問2です。休校期間中の家庭学習では、何に取り組みましたかというのは、一番高かったのは90%近くは学校が配布したドリルやプリントでした。私どもが取り組んだ家庭学習支援のポータルサイト「うち★スタ」という、授業動画・プリント・AIドリルを盛り込んだポータルサイトは33.6%の方が利用したというお答えでした。関連して問3では、今後もしも、再度の臨時休校になった場合、どのような学習支援をのぞみますかという問に対しては、学校からの課題配布(ドリルやプリントなど)という回答が82.7%と休校期間中に学校がしっかりとドリルやプリントなど課題を配布して、その成果が保護者からも評価が得られたのかなと、今後もそういう対応を望むという方が多かった結果でございます。双方向のオンライン授業については49.5%、それから繰り返し見られる授業動画46.8%という結

果でございました。その他の2.6%は、今、一つ一つ自由記述の精査をしているところですけれども、休校は望まないというようなご意見もいただいております。問4はオンライン授業をする場合は、どのような心配がありますかということで、子どもの授業の理解度、ICT 機器の準備、その他の2.1%の中に関連するような自由記述がありまして、4人の子どもを持つ親として4台分の端末が無い、あるいは4つの部屋がありませんというような回答もありました。まだ十分な分析はできておらず、今の段階ではローデータの提供でありますけれども、まず結果の概要を報告させていただきました。以上です。続けてA4版の左肩に教職員用とあるもので、前回の臨時教育委員会の中で教職員のアンケート調査についてご助言をいただきました。作成をして、現在回収をしているところでございます。抽出校を対象にしています。東小学校・山手小学校・清音小学校・神在小学校・総社西中学校・昭和中学校です。4つの中学校区の小中学校をまんべんなくということで調査をしております。以上です。

久山教育長 それでは先程の説明につきまして、何かご質問はありませんか。

三宅委員 オンラインの調査で49.0%の回答率というのは多いのでしょうか。

井上学校教育課長 前回 ICT の調査をした時よりも少し少ないくらいで大体同じくらいの回答率です。市内の小中学生が6,000人近くで、その保護者は大体4,000家庭くらいですので、実際には4,000家庭を母数にすればもう少し回答率は上がるのですけれども母数を5,191で計算すると49.0%になります。多い少ないかはちょっとなんとも。

三宅委員 多いのかなと私は感じているので聞いたのですけれども。子どもたちのことに関心をもってきているのかなと思いました。

井上学校教育課長 ありがとうございます。これは web アンケートですので配信直後からリアルタイムでカウントが上がっていくのですが、大体1日目で千数百件、6～7割にいきます。最初の1～2時間のデータと最終のデータはほぼ変わらず、あまり大きく変化しません。ですので、大体調査の入り口のところで傾向が見えてくる、そういった特徴もあります。

三宅委員 これを紙媒体でしようと思ったら、オンラインだから、きっとできているのでしょうかね。

久山教育長 その他に何かありますか。

(質疑なし)

久山教育長 教職員用のアンケート、児童生徒のアンケート、それから校長のアンケートの3種類をしております。まだ集計をしている段階でございます。次回の教育委員会ではご報告できるかと思っております。よろしく申し上げます。

その他に報告事項はありませんか。

(報告事項なし)

久山教育長 それでは、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、8月28日(金)午前9時30分から、資料展示室で開催いたしますので、ご参集願います。次に、9月の教育委員会の日程を調整したいと思いますので、事務局から提案願います。

*** 9月の教育委員会について日程調整***

久山教育長 9月の教育委員会は、9月25日(金)午前9時30分から開催いたします。

それでは、議案第19号及び議案第20号の審議に入ります。この2件については、教科書用図書の採択に係る議案であり、案件の内容から非公開といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

久山教育長 それでは、この2件の審議は非公開といたします。

久山教育長 それでは、議案第19号「令和3年度使用中学校教科書用図書の採択について」事務局から説明願います。

【非公開審議】

久山教育長 次に、議案第20号「令和3年度使用特別支援学級教科用図書の採択について」よろしく願います。

【非公開審議】

久山教育長 長時間に渡りましてありがとうございました。

これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします

【閉会 午後3時40分】